

たくさんのご寄附 2026年 | 3月 |
ありがとうございます!

市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからも魅力ある旭川のまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。※寄贈は相当額。

市への寄附の詳細はこちら



住吉経済交流課長

エア・ウォーター東日本(株)様
 代表取締役社長 上村 浩様
 10,000,000円 (企業版ふるさと納税)



(株)エコリングネクスト様

代表取締役社長 在里弘樹様 (中央)、エコリングフィール旭川店スーパーバイザー兼店長 武末海斗様 (左) 2,000,000円 (企業版ふるさと納税)



昭栄建設(株)様

取締役会長 佐々木 端様(左)、代表取締役 佐々木 詢様(中央) 1,000,000円 (上下水道事業)



西山坂田電気(株)様

代表取締役会長 西山陽一様 2,156,000円 (あさっぴーの活動支援費)



住吉経済交流課長

コーユーイノテックス(株)様

常務執行役員 坂本政弘様 1,500,000円 (企業版ふるさと納税)



和田教育長

ピリカ動物病院様

242,000円 (市内小中学校にカレンダー 1,100部)



有煙筒の横山様

100,000円 (環境基金)



旭川ガス(株)様

489,710円 (あさひやま"もっと"夢基金)



和田教育長

新栄電設(株)様

154,550円 (大町小学校に跳び箱用運搬台車1台、ワイヤレスHDMI送受信機9台)



三宮(当時)経済部長

(株)太田硝子店様

300,000円 (デザイン振興基金)

みんなで挑戦!
ゼロカーボンシティ旭川 Vol.14
 安心して暮らせる豊かな地球環境を守るため、私たちが抱える気候変動問題の解決に向けた市の取組みを紹介します。
 【詳細】環境総務課 ☎25・5350

ゼロカーボンシティって?
 2050年までに、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す地方自治体です。旭川市は令和3年10月に表明し、脱炭素社会の実現に向けて、積極的に取り組んでいます



グリーンアンバサダーから

「環境保全フォーラム2026」に参加しました

3/22

旭川グリーンアンバサダー
 よしだ こなつ
 吉田小夏さん



3/22に開催された環境保全フォーラムにて、第2部「環境保全をとらえて取り組む Zero Carbon Zoo とは?」のトークセッションに参加させていただきました。多くの方が環境問題に関心を持ってご参加くださり、旭川市や動物園の取組みに真剣に耳を傾けてくださっていたことが印象的でした。また、今回のフォーラムを通して、私たちの日々の選択や行動が、身近な自然環境だけでなく、遠くに生きる動物たちの暮らしにもつながっていることを改めて実感いたしました。環境問題はどこか遠いもののように感じがちですが、一人一人の意識や行動の積み重ねが未来を形づくっていくのだと感じております。旭山動物園では、環境に配慮した取組みや展示を通して、来園者が自然や環境に関して考えるきっかけが多く用意されています。動物園を訪れること自体が、環境に関して知り、考え、行動へとつなげる第一歩になると感じました。

今回の学びを大切にしながら、日常の中でできることを少しずつ積み重ねていきたいと思っております。

